

### 環境調査結果のお知らせ

令和2年7月8日10時から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

#### 概況

漁場環境は、水温が20.6～24.1℃、塩分が28.3～34.4、溶存酸素量が5.7～7.1mg/Lでした。透明度は0.7～6.0mで、有害種のカレニア・ミキモイ及びシャットネラ属が確認されました。

#### 水温と塩分(表1・2)

水温は20.6～24.1℃、塩分は28.3～34.4でした。  
 前回調査時(R2.6.24)と比較して、水温は全層で0.4～0.8℃低下しました。塩分は表層で1.7低下し、2m層から底層で0.3～0.8上昇しました。

#### 溶存酸素量(表3)

溶存酸素量は5.7～7.1mg/Lでした。  
 前回調査時と比較して、溶存酸素量は全層で0.8～1.4mg/L減少しました。

#### プランクトン(表4・5)

湾内の透明度は0.7～6.0mでした。  
 検鏡の結果、有害種のカレニア・ミキモイが最高で1 cells/mL、シャットネラ属が最高で2 cells/mL確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

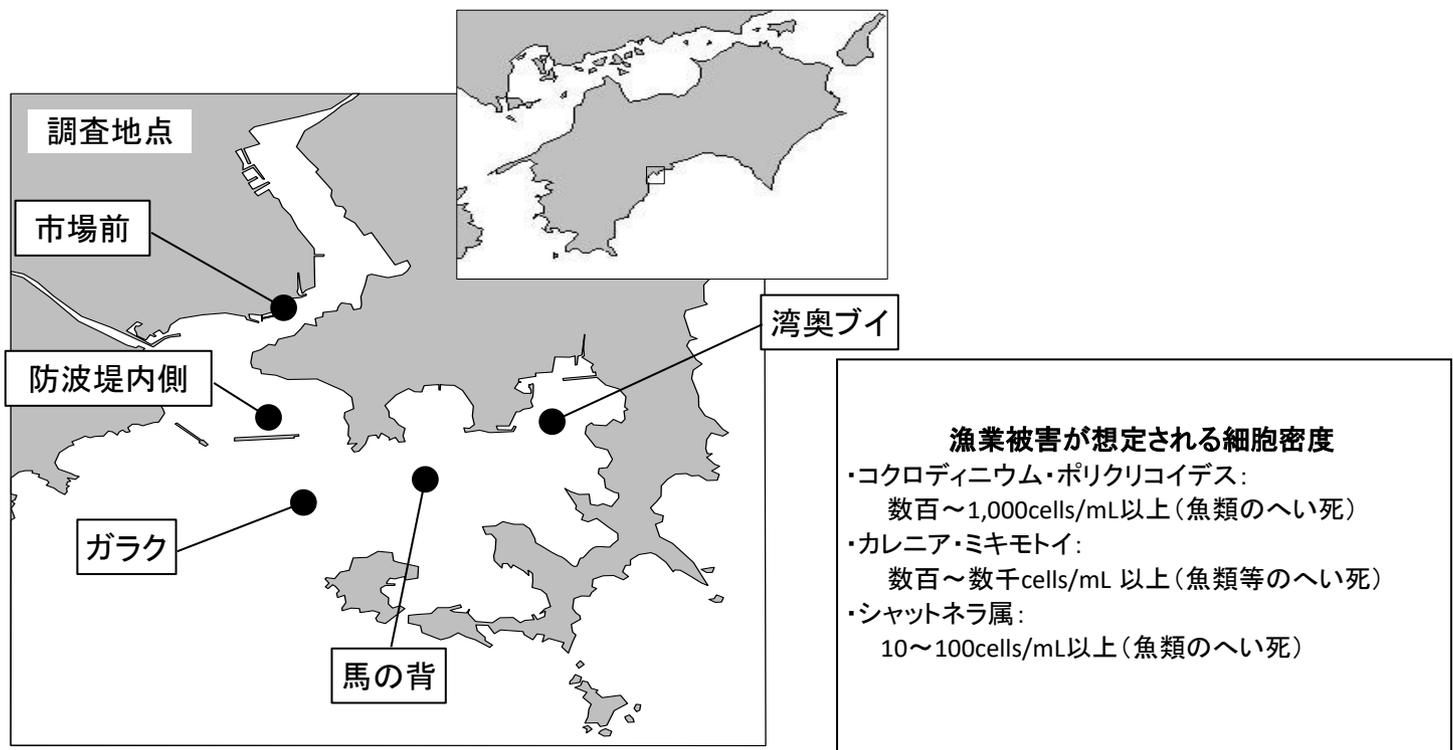


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査(R2.6.24)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	24.1	23.7	23.7	<b>23.8</b>	24.4	▲ 0.6	21.2	22.2
2m	23.5	23.4	23.3	<b>23.4</b>	24.1	▲ 0.7	23.1	23.0
5m	23.1	23.0	23.0	<b>23.0</b>	23.7	▲ 0.7	22.9	22.9
10m	22.6	22.7	22.4	<b>22.6</b>	23.0	▲ 0.4	22.3	-
B-1m	21.7	20.6	22.0	<b>21.4</b>	22.2	▲ 0.8	22.0	22.6

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査(R2.6.24)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	30.1	31.4	28.3	<b>29.9</b>	31.6	▲ 1.7	7.9	9.1
2m	32.6	32.4	32.0	<b>32.3</b>	32.0	0.3	32.0	29.9
5m	33.3	33.3	33.5	<b>33.4</b>	32.6	0.8	33.3	33.2
10m	33.7	33.7	34.0	<b>33.8</b>	33.4	0.4	34.0	-
B-1m	34.3	34.4	34.1	<b>34.3</b>	34.0	0.3	34.1	33.7

表3 溶存酸素量(mg/L)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査(R2.6.24)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	7.1	6.4	6.9	<b>6.8</b>	7.6	▲ 0.8	8.4	8.0
2m	5.8	6.2	6.4	<b>6.1</b>	7.5	▲ 1.4	6.6	6.0
5m	6.1	6.1	6.8	<b>6.3</b>	7.5	▲ 1.2	6.3	6.4
10m	5.8	6.4	6.8	<b>6.3</b>	7.4	▲ 1.1	6.5	-
B-1m	5.7	6.3	6.4	<b>6.1</b>	7.0	▲ 0.9	6.4	6.5

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	17.8	23.0	15.4	13.7	10.0
透明度	4.5	4.0	6.0	1.5	0.7
前回(6/24)	5.5	9.0	7.5	3.0	2.5

表5 プランクトン(cells/mL)

		コクロディニウム・ポリクリコイデス	カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属	珪藻類
湾奥ブイ	0m	0	0	0	1,210
	2m	0	1	2	370
	5m	0	0	0	70
馬の背	0m	0	0	0	760
	2m	0	1	0	690
	5m	0	0	1	300
ガラク	0m	0	0	0	760
	2m	0	0	0	600
	5m	0	0	0	260
津波防波堤内側	0m	0	0	0	120
	2m	0	0	0	190
	5m	0	0	0	110
市場前	0m	0	0	0	2
	2m	0	0	0	120
	5m	0	0	0	20